

Imperfection

インパーフェクション

MALICE MIZER



Vol.3

Forme' d Eros EGOIST;e NUDE~OF J

KALEN Die;SEXION VICTIMofFAITH

MALICE MIZER



10/23に結成二周年を迎えたMALICE MIZER。

緻密なコンセプトで固められた彼等の楽曲・ビジュアルは全てを超越し、まるで中世のヨーロッパに舞い降りたような錯覚に陥ってしまう程である。そんな彼等の意外な(?)素顔が見られる、終始笑いの絶えなかったインタビューをお届けしよう。しかし、そんなインタビューの狭間にも彼等が常に先のことを考え、新たな何かを確実に掴みながら着実に前に進んでいこうとする姿勢が伺えた。

一度懸けられたら二度と解くことの出来ないMALICE MIZERの魔術にあなたもきっと虜になってしまうでしょう。まさに、男版宝塚

【MALICE MIZER】の全貌を(?)今、ここで明らかにしよう。

★自己紹介をお願いします。

yu~ki(以下y);ベースのyu~kiです。

kōzi(以下kō);ギター&シンセのkōziです。

kami(以下ka);ドラムのkamiです。

tetsu(以下t);ヴォーカルのtetsuです。

mana;(以下m)ギター、シンセのmanaです。

★結成はいつですか？

t;1992年の6月です。

m;いやっ、8月。

t;じゃあ、8月です。(笑)

★皆さんは以前のバンドで大変活躍されたばかりで錚々たるメンバーが集まったという印象を受けるのですが、t;そんなことないですよ。

一同;(笑)

★その経緯を教えてください。

y;ギターの2人が中心となって結成されて..たまたま同時期にみんなのバンドが解散してしまって、もともと対バンとかで知り合いだったということもあって、じゃあやろうかということ으로誘われたんです。

t;俺は、ギターのkōziに「新しいバンドやるんだけど、関わってやるよ。」「お願いします。」って感じで。(笑)

やっぱりしょっちゅう対バンとかしてると仲良くなって友達となるでしょ？それで友達とかのなかでギターの2人が中心となって。で、俺達は摘まれたと。(笑)

★MALICE MIZERというバンド名はどなたがつけられたんですか？

t;manaさんです。

m;いや、味沢 匠です。(知る人ぞ知る幻の...) (笑)

★その由来は？

m;ヨーロッパ的なイメージでやろうというのがあったから、フランス語でバンド名をつけようと思っていろいろ考えていて...で、MALICE MIZERという言葉があって気に入って、意味も「悪意と悲劇」という意味で、すごい俺達に向いてるバンド名だと思って付けました。

★7/24に1stアルバム【memoire】を発売されて、現段階で既に初回プレスを完売と人気の凄まじさを感じていますが、このCDを出そうというのはいつごろからお考えになっていましたか？

m;元々は結成していつかはCDを出すっていうのが頭の中にあって、いろいろな活動してって、結成当初に「プレイントラッシュ」というオムニバスアルバムの話を頂いて、名刺変わりにってことで参加して、これで世間にMALICE MIZERってバンドがいるんですよってことが分かってもらえて、その後は実践で鍛えるって感じでライブをバンバンやって、一度無料配布ものをちよっと配ったりはしたけど、基本的なデモテープというものは一切出さないで..というの自分達の音を確立するために、煮つめるためにちょっと時間が必要だったので、へたなデモテープは作らないでおこうと思ってデモテープ発売は止めて、冬頃にそろそろ出してもいい時期じゃないかというのがみんなの頭の中にあってそれで話し合いをして、时期的に7/24(なによ！)がいいんじゃないかということになって、それにあわせて全国ツアーも組もうかということになって。小規模なツアーはしたことあったんだけど全国ツアーというものは今までしたことなくて..アルバム発売記念ということで、夏休みということもあったんで全国を廻ったという感じです。

★何箇所位廻られたんですか？

m;16カ所位だと思うんだけど..

t;1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12...(数える)15！！

★このアルバムのコンセプトは“想い出”ということですが、【memoire】というタイトルにした理由、このコンセプトにした理由を教えてください。

m;人間誰にも“想い出”というものがあって、人それぞれ違うと思うんだけど..悲しい想い出なり楽しい想い出なりあるわけで..その懐かしい想い出というものを

懐かしい想い出を蘇らせるのが狙い。

MALICE MIZERの【memoire】というので蘇らせるというのが狙いなんですけど。最初の「de memoire」という曲で自分なりの解釈で懐かしい音というのを表現して見たんですけど、それを聴いてみなさんがどのように解釈するかは分からないですけど、僕なりに懐かしさは出せたと思っています。それでうまく皆さんの懐かしい記憶が蘇ればいいなど..

-この6曲を選んだ理由というものは？

t;これだという曲を集めました。(笑)

★一曲ずつ曲を解説して下さい。

m;「de memoire」フランス語で～記憶を辿って～という意味なんですけど、

t;記憶を辿れと。(笑)

★インストナンバーなのに歌詞が付いていると。

t;よくぞそこに気付いて頂けました。(声が変わる)

★(笑)

t;アルバムの導入部だから、そこからまず入って行くという意味で..元々インストにするっていうのがあって、テテテ、テテテ..という音の繰り返しになっているでしょ？そこでグーッとまずは音から入っていくということと、言葉によってまた辿って行くという意味合いも込めて詩があるわけです。

★2曲目の「記憶と空」

m;一言で言うとう変拍子多用した、パイプオルガンの音色を全面に押し出したヨーロッパ的な仕上がりで、クラシックのフレーズを所々散りばめたりして、

t;正統派MALICE MIZERという感じで..

★MALICE MIZERの代表曲と見ていいんでしょうか？

m;まあ、ぼちぼちとりあえず..そんな感じで(笑)

t;一番自分たちの味が出ている曲です。

m;中世ヨーロッパのサウンドって感じですか..

★「エーゲ海に捧ぐ」

m;これはギリシャのサウンドって感じですか..

一同;(笑)

t;そのときによって違うよなっ今ギリシャ初めてだもん。

m;いろいろあるんだから..エーゲ海もギリシャなんだから..

t;じゃあエーゲ海でいいじゃん？

m;じゃあエーゲ海のイメージで..

★(笑)

m;そのまんまじゃん。(笑)

★「午後のささやき」

m;午後のひとときって感じで、椅子に座って紅茶を飲んでという感じです。

t;午後の紅茶のタイアップがとればいいなど。

★(笑)

t;m;まあ、そんな感じです。

★「魅惑のローマ」

t;ローマって感じだね。

m;芸術の街ローマを舞台に繰り上げられる物語です。

★では、

m;そんなんでもいいのかなっ

一同;(笑)

t;しかし...

★「Seraph(セラフ)」この曲はkōziさんが作曲されたそうですが、最初の5曲とはまた違った雰囲気を感じ出していますが、私のイメージからして光が差し込むような爽快感を受けたのですが、

kō;(大爆笑)爽快って感じいいよなー。

t;爽快いいよなー。

一同;(口々に)爽快。[大爆笑]

kō;..ありがとう..

★良い意味でMALICE MIZERのサウンドに一味違ったエッセンスを取り込んだというか、新たな一面、広がりが見えてきたと思うんですが、それについてkōziさんはどのようにお考えですか？

kō MALICE MIZERに新しい風を吹かそうと思って。

(笑)

★これからこのような新たな形の曲も増えて、どんどん MALICE MIZERの枠が広がって行くというわけですね。

m:そうですね。どんどん進化していくというわけです。
t:進化? 進化した時にこのアルバムがこの曲ができたという感じがします。今までは「記憶と空」みたいな曲調ががーっとあって暗かったんですよ。「エーゲ海に捧ぐ」からの残りの4曲は新たな違った面が出てきて、それからアルバムが出たって感じだから..

★この6曲の位置(順序)というものが、すごく意味のあるものだと思うんですけど、この順序についても入念に考えられ、皆さんで話し合われて決めて行かれたのでしょうか?

t:そうですね。けっこう曲のつながりに関しては練りましたね。

★アルバムではmanaさんが5曲、kōziさんが1曲楽曲を提供されていますが、曲はどなたがどれ位の割合で作っているんですか?

m:割合ってものはないんだけど、基本的に出来たときに出来たって感じなので。

t:出来てやって行けるなって感じで。

m:別に何割君が書けてもものではなくて、出来たら出来たでやるって感じで..まあ、偶然俺が5曲になっただけで、次回は俺は1曲もないかもしれないし..

★皆さん曲は書かれるんですか?

m:今回のアルバムは俺とkōziだけだけど、みんな作れるんでこれからまた次のアルバムとかはみんなの曲が入り乱れるかもしれないし、

★(大爆笑)

t:入り乱れる!

m:それは分からないですね。誰が書くとかそういうものではなくて、自然な形ですね。

★どんなときに曲は生まれますか?

m:イメージや風景を大切にしたいんで、例えば「エーゲ海に捧ぐ」って曲は頭の中にエーゲ海を描いて、自分の持っているエーゲ海のイメージと自分の持っている音を照らし合わせていって緻密に作っていくって感じで..まあいろんな作曲の仕方はあると思うんだけどジャララーンってコードを繋げて作っていくって方法もあると思うんだけど、俺の場合はイントロから始まって次の繋がり自分なりの音で、この音だっていうのを少しずつ繋げて繋げて作っているんですけど結構時間掛かっていますね。

★だいたい期間はどれ位ですか?

m:だいたい半年から一年位。

★半年から一年も?(驚きのあまり口が塞がらない)すごいですね。

m:一曲に対して納得いくまで、納得した曲しかやりたくないんで..

★では、一曲一曲に対する思い入れというのは、相当深いのでは?

m:そうですね、一つ一つの音がこれだというのしか使わないようにしているんで。

★manaさんは以前クラシックをやっていたと小耳に挟んだのですが、

m:やっていったっていうか、自分のうちの親が高校の音楽の教師なわけですよ。で、幼いころから家の中ではクラシックが流れていたし、親がピアノを弾いたり、バイオリンを弾いたり、チェロを弾いたりしてて、オーケストラの指揮者もやっていたんで、クラシックの楽器とかが家の中にあっただけど、その頃(高校時代)俺は全然興味がなくて、その頃はハードコアパンクというものに目覚めていて、高校卒業してバンドを組んでMALICE MIZERというバンドをやり出して、だんだん音楽が分かってきたら、幼い頃に聴いていたクラシックというものが自然に自分の中に入っていたわけで..その頃は嫌い

だったのにずっと聴いていたものでそれが入って、今出てきている状態で..だから特別習っていたとかそういうものではなくて、無意識のうちに入っていったものが MALICE MIZERで出てきているというわけで別に意識して習っていたとかそういうものはないです。

★皆さん素晴らしい感性をお持ちでいらっしゃいますが、まあ天性というものもありますが..それはどのようなところから出てくるのでしょうか?やはり普段から感性を磨くために何かしていることとかはありますか?

m:感性って持って生まれたもんだからね。

t:英語に直すとsence。

y:僕は絵とか好きだから、いろいろな画家の絵を観たり、ファッション雑誌を見ることによって磨かれていくんじゃないかと思います。

t:視覚からね。

kō:普段から?何もしないなあ。

t:はいっ。

ka:それはsenceの問題でしょう。頭の中にある引き出しから出していっただけだから、自然に表現しているだけだから..

t:僕は詩を書いたり、メロディーも付けないといけないから、その引き出しを増やしていく作業をしていかなくちゃならないわけで..その引き出しを増やす作業をするために、映画とかはよく観ますね。本だと疲れちゃうから..短編小説とかだったら読みますけどね。(笑)あと、イメージトレーニングをするんですよ。

★どのようにして?

t:部屋を真っ暗にするんですよ。TVの明りだけつけて、でもTVは観ないで..その中で膝を抱えていろいろ考えるんですよ。

一同;(笑)



今の時代が一番いいよ。

だって、テレビないのいやだもん。

by tetsu

kô;あっても俺もそれやるわ。

t;やるでしょ？

kô;やるやる。

t;例えば、自分たちの曲とかかけて、ステージングにしたらどうだろうなーと考えたり、自分が何かしているときにどうなのかなーっていうのをちっちゃく考えてるんです。

★映画は、どんなジャンルのものを観たりするんですか？

t;何でも観ますよ、でも洋画ですね。邦画は嫌いなんです。洋画だったらホラーからアクションからラブロマンスまで何でも観ますね。

★どの国とか、こだわったりしているんですか？

t;いや、どことかは別にないです。でも最近ではMALICE MIZERの影響からフランスの映画に興味がありますね。そこから会話や言葉のリズムを学んだりしてますね。

m;基本的に努力はしてないですけど..あらゆるものに興味を示すっていうのが俺の考えで、興味を示したものはとことん突き詰めるっていうのが俺の概念なんで..映画を観るにしても普通に観るんじゃなくて、普通は楽しみながら観たりするもんだと思うんだけど、俺の場合は、カメラワークや照明、効果音、BGM、演出の仕方なりを観ていくと、いろんな人がこんな風に考えてやってるんだなっていうのが見えてきたりするんです。あと、料理にしてもスパイスの調合とか、30種類以上のスパイスを嗅ぎ分けることができるんです。

一同;(爆笑)

m;一応インドカレーを研究中です。

一同;カレー。(大爆笑)

t;カレーじゃないですよ。「カレー」。

m;そのスパイスを調合したりとか..何でも突き詰めるんです。

★では、manaさんのお家にもスパイスが何十種類もあるんですか？

m;まあそうですね。

t;そういうことにしておきましょう。(笑)

m;でも、これから真剣にバンドと並行して、いずれはインドカレー屋を出そうかなと計画中なんですけど。

(笑)とりあえず、何処に行ってもカレーばっかり食べるんですよ。で、舌で研究してるんです。何が入っているかとか..(取材中も食べているのは、もちろんカレーだった。mana氏いわく、「ここのはまずい!」とのことであったが、全てきれいにたいらげていたのだった。)

あと、ヨーロッパ的な音楽を目指しているんだけど、まだヨーロッパとかには行ったことがないので、機会があれば行ってみようかなーと思っています。また違うものが見えてくるんじゃないかと思うし..

★そうですね。では、MALICE MIZERの詩の世界についてお伺いしたいのですが、某雑誌(s)のインタビューで、manaさんが曲のイメージをだいたい決めて、そこからtetsuさんの感性で詩を重ねていく..と言われていましたが、tetsuさんが曲を聞いた瞬間にmanaさんとは全く違ったイメージで曲を捉えたりしたことはありましたか？

t;ありますよ。

★そういう時はどうされるんですか？

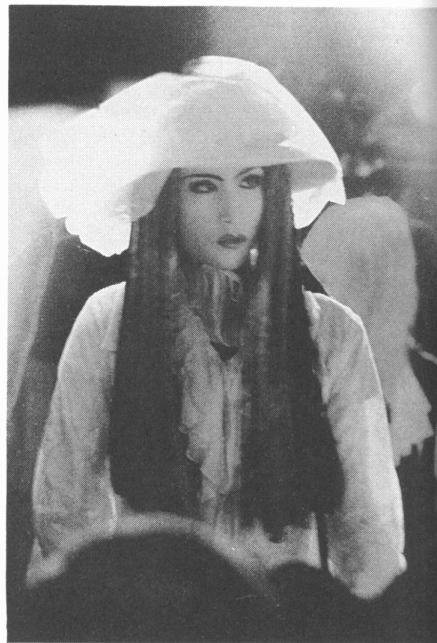
t;でも、結構譲歩というか、譲り歩み寄らないと、バンドというものは一人でやるもんじゃないから、自分の出したいところも出しつつ、譲りつつ、お互い噛み合うようになって..「エーゲ海に捧ぐ」は、僕のイメージとかなり違ったから、今までの中では一番食い違いがあったかな。でも、それもうまいことやって..しかし、妥協ではないです。

★また、反対にmanaさんが考えたイメージとは、全く違うものになったりしたことはありますか？

ヨーロッパ的な音楽を目指しているま

いずれはインドカレー屋を出そうかと
計画中です。

by mana



m;まあ、個人個人の感覚は違うから、全く同じものを作るのは難しいと思うので、多少は自分の思ったのとは違うものになったりしたことはあるんだけど、無理に交に合うすよりは、その人の感覚を生かしつつやった方がいいんじゃないかと。

★では、お互いの意見を尊重しつつやっているという訳ですね。

m;そうですね。

★tetsuさんは、詩を書く上で苦労されたこととかはありますか。

t;うーん(悩む)。そんなに苦労は..うーん、そうですね..やっぱり、最初の詩を作っている時と、今の詩を書いている時とは頭の中が違うし、育ってきているから、その辺での苦労は少なくなっているけれども、やっぱりずっと詩を書いているから、ある一個のものを表現しようとした時に、自分の詩の中にもう何回も出てきちゃっているものもある訳だから、そういう面では言葉の表現力とか苦労するか..それを補うためにも、映画を観たりして、いろいろ勉強したり..

★結構一曲の詩を書くときは時間がかかるんですか？

t;あっそうでもないですよ。一回書き出したらバーっといっちゃいますから。

★では、tetsuさんが最初に詩を持って行って、そこからmanaさんがイメージして曲を作り上げるということはないんですか？

t;それはやったことはないです。普段から詩を書くことは、あんまりしないですよ。言われないとやらない人だから..(笑)曲が出来て、さあ、詩を書こう..っていうのが多いから。普段は思い浮かんだ言葉とか、僕の秘密の手帳に書いているんですけど..そういう事はしてるけど、詩を書くことはしないから、こういう詩で作ってとかはないですね。

★一つの曲を作り上げるには、二人の歯車が噛み合わないというのか、まさに二人三脚の共同作業のようなものだと思うのですが..

t:いやっ。うちの場合は曲持ってきたら、ここからメロと詩をつけてっていうのと同時にドラムつけて、ベースつけて、kōziのギターつけてってみんなでガッツと入るから、作業的には五人で共同作業してるから、(tetsu君とkōzi君の指を合わせて) 1.2.3.4.5.6.五人六脚です。(笑)

★皆さんが、その曲に色付けをしていく作業をしていく訳ですが、どのように曲は出来上がっていくのですか？

ka:最大限に一番良いものに持っていくように話し合った上で曲は出来上がっていきますね。

t:最初にテープを渡されて、個人個人で作業をしていくんですよ。それを、次のスタジオの時にガーンって合わせて、お前そこ違うよ、こういう風に変えた方がいいよって感じで、バーンと一個になっていくんです。その一個になるのに結構時間がかかるんですよ。

★常に皆さんで話し合いをされて曲は出来ていくわけですね。

t:そうですね。

★レコーディング (インタビューー間違える..)

t:(とっさに突っ込み) レコーディング (笑)

★(気を入れ替えて) レコーディング自体の期間はどれ位だったのですか？

t:(揚げ足を取って) レコーディングは、TD (トラックダウン) 入れて10日位。

★では、各パート毎に一日何曲位のベースだったんですか？

ka:俺なんて、二日で終わっちゃうぜーってのりだったけど、結構煮つまって、一日一曲とかで..もう体ボロボロ。(笑)で、酒飲んでノリー発でやっちゃえーってところもあったし。

t:ビール飲んで、一気にガーンって。で、俺も関係ないのに飲んで酔っ払っちゃて。

一同;(大爆笑)

★初のアルバムのレコーディングということで、苦労した点や、改めて気付いた事などはありましたか？また、何かエピソードなどがあれば教えてください。

y:僕は、きっちり何曲も録るっていうレコーディングはやったことがなかったから、結構勉強になった事とか、自分自身どこが未熟かとか、そういう新たな発見が出来たと思う。

ka:レコーディングの時は、これでいいって思ったんですけど、改めて後から聞いてみてまだまだ未熟だなって思った部分も多かったし、あと、今までレコーディングで、クリックっていうのがあるんですけど、

★クリック？

ka:メトロノーム。それをやらなかったんですけど、初めてそれを使ってみて、クリックの大事さってものも分かったし、自分の体に染みているリズムっていうのがメチャクチャっていうのも分かったし。で、クリックを流しながらやらないと出来ない曲もあったんですよ。

★それは、どの曲ですか？

ka:「seraph」です。あれは、クリックを聞かないと絶対出来なかった曲です。そういう意味でも勉強になりました。以上。

★kōziさんは？

kō:エピソードから話そうかな。(軽やかな口調で)

一同;(爆笑)

kō:なんだろうなー(しばし考える) あっそう、わが家のようにスタジオで寝泊りしたよね。

t:そうそう、もうわが家のように。精神的に追い詰められるって事がなかったからね。リラックスしてたね。

kō:結構追い詰められたほうじゃない？

t:(苦笑) まあ、そういう時もあったね。ブースの外は、わが家なんだけど、一歩ブースの中に入ると、ヴォーカルは、絶対独りで録らなくちゃいけない孤独な作業だか

ら、周りに誰かいて喋っていたら怒られちゃうから、(笑)孤独感を味わいつつ一生懸命歌って、で、たまに今のどうだったって聞くと、ブースの外のわが家では、ヒヤッヒヤッヒヤって笑い声が聞こえていたりして、

ka:ヒヤッヒヤッヒヤ。(笑)

t:で、全然関係ない話してたり、ため息が聞こえたりして、そういう部分では追い詰められたけど、リラックスしてできましたね。あと、レコーディングのために、さっき話したイメージトレーニングをしたんですよ。その時は、自分が聴く人の立場になって想像したんですけど、その成果がうまく出せたかなと。

m:レコーディング前にアレンジもだいたいして臨んだんですけど、曲というものは進化して行くものなんで、レコーディング中にどんどんアイディアが出てきて、微妙にアレンジとかが変わってきたりするんですよ。ぱくは、レコーディング中は一回も家に帰らずに一週間ずっとスタジオにいて、作業が終わって寝る時間になってもずっとアレンジを考えたりしてて、結構精神的にはまいったりしてただけど、できたアイディアがうまく生かされたので満足はしましたね。

y:寝れなかったよ、俺も。

m:嘘？

y:横で『記憶の空』の作業してて、「これどう？これどう？」っていつてて..人が寝てんのに。(笑)で、「これだー。おーすげー、おう。」って叫んでて。

一同;(大爆笑)

m:出来たとき感動したもん。

y:聴いて聴いてって。(笑)

t:「記憶と空」のサビの最後の転調した後のギターのフレーズのとこなんだけど。タッタッタ、タラタッタ..(口ずさむ)

五人六脚です。



MALICE MIZERに新しい風を吹かそうと思って。

by kōzi

m; ちょっと、トラックダウンのミスで、よく音が出ていないんですけど、じっくりそこを聴いてほしいですね。
★ところで、アルバムのジャケットイメージというのは？

m; とりあえず、MALICE MIZERってどんな感じかなって考えると、ヨーロッパ的であって、気品があって高貴な感じ？

★まさに、そうですね。

m; ゴージャスな感じにしようかなと思って、そしたらあの写真があったんで、これだ！って。

★初回盤と追加プレスとは、写真が違うと聞いたのですが。

m; 表紙とかの写真ではなくて、中のCDの絵柄が違うんですよ。

★皆さんは、中世のヨーロッパの音楽はもちろんのこと文化や、絵画などにも興味を持っているんですか？

m; 多分、ローマ・カトリックの聖歌が、音楽の始まりだと思うんで、ローマって街にすごい興味があるし、アカペラなんですけど、その音楽もすごい神聖で、心が不思議な感じがするんですよ。俺は、すごい影響を受けていますね。バロック時代のバッハとか、そういう教会的なのが好みますね。

★パイプオルガンの音色とか？

m; そうだね。でも、そればかりじゃないけど.. なんだろ.. うね。(笑)

★manaさんは、先程旅行に行ったことがないと言っていましたけど、皆さんは、旅行に行かれたことはあるんですか？

一同; (口々に) ない。

★では、今もしも、中世のヨーロッパにワープ出来るとしたら、(但し、そっちを選んだ場合、もう今の生活には二度と戻れないという条件がついたとして) その時代に移り住みたいと思いますか？

一同; (口々に) 全然思いません。全く思いません。

★(笑)

t; そりゃあ、今の時代が一番いいよ。だって、テレビないのいやだもん。馬乗りたくないし(笑)

m; ゲームもないし、いやだよ。カリーもないし。

t; カリーなんて食えないよ。まだ、インドから伝わってきていないし。(笑)

★では、今一番行ってみたい国は何処ですか？

m; これだーっていうところ？

★そうですね。ヨーロッパ全部とかなしで具体的に。

m; イタリアかな。ローマかな。

★何故ですか？

m; ローマって街はすごく計算された街なんです。日本みたいにボツボツって土地があってボツボツって、建てていくっていうんじゃなくて、ローマって街は建築前から配列っていうのを緻密に考えているんですよ。だから、行ったことはないんですけど、本とか見たりして、歩くごとに芸術で驚きばかりだっていうのがあったんで、どうしても計算された芸術の街ローマにいてみたいというのがあるんです。

t; 俺は、オランダかジャマイカ。特に行きたいのはジャマイカかな。

★理由は？レゲエが好きとか？

t; 特に好きっていうか、マニアとかではないですけど、(笑) 元気が出る音楽って感じがするじゃないですか。ああいう人々の中に入って生活して見たいなというのがあって、なんか、原始人に戻れそうな(笑) 人間であった頃のちょっと前の頃に戻れそうな気がするんで。あと、ロンドンに住みたい。結構向こうのニューウェーブ・パンクが好きだから。あと、アメリカもいいなー。

kō; 何処でもいいんじゃないか？

t; 結構日本嫌いだから.. (笑)

★kōziさんは？

kō; 芸術の街。(笑)

t; 西洋とか？

kō; まあ、そんなとこかな。

★kamiさんは？

t; ハワイとか..

kō; 国後島とか..

t; それ日本だよ。(笑)

ka; 全国世界。

一同; (爆笑)

t; 世界中って言えよ。

ka; だって、まだ日本征服してないもん、その前に。いろんな国の文化というのを知りたいし。あと、一番行きたいのはエジプト。

kō; 俺もピラミッド見たいよ。

ka; 神秘的な。

kō; おおー。

★yu~kiさんは？

y; フランス。フランス語が好きだから。あと、ブロンドの綺麗なお姉さんがいるとこだったら、どこでもいいです。外人好きなんですよ。

t; 新大久保にいっぱいいるよ。(笑)

★ところで、アルバムの中の写真についてですが、ビジュアルが大変凝っていますよね。先程もmanaさんが言われていたように、何か上流階級というか、一同; 上流階級(笑) (口々に) そういえばそうだなあー。

★とても高貴なイメージを受けたのですが...メンバー一人一人個性があり、しかも、自分自身をよく理解した上で、自己のイメージをうまく表現されていると思うのですが、皆さんは自分自身をどのようなイメージで表現されたのでしょうか？

ka; 俺は鏡に写った顔、kamiなんですけど。

一同; (苦笑)

ka; 鏡に写った顔と、写されてる顔の人間のもっと奥深い両極端の部分を出すために。イメージショットの顔と、五人一緒の時の顔とでは、両極端の顔をしているんですよ。そういう二面性を出したかったっていうのはあります。

★yu~kiさんは？

y; 宝塚みたいなものを狙ってるってこはあるよね。

★kōziさんは？

kō; 俺は自然に.. やったよ。

★何か一人だけイメージが違うような感じがするんですけど。

kō; 違うんだよ。

一同; (笑)

ヨーロッパ的で高貴な感じ。



kō;一応高貴なイメージを崩さないように。あんま考えてないですけど。(笑)

★tetsuさんは?

t;自分なりのイメージというのは撮影の後から出てきたともあって、自分のイメージっていうより、あれは『記憶と空』のイメージに近いかなーとか思いながら。

★これからのイメージというものは?

t;秘密です。(笑) ステージで表現されるんじゃないかと。

★では、ライブにいてステージをみないと分からないと。

t;うーん。ライブでみても分からないかもね。自分がどうすれば一番活かせるか見えてきた段階なので、これから磨いていきたいなと。

★manaさんは?

m;基本的に人間味を出したくないんです。

★皆さん人間っぽくないっていうか、別世界の空間にいらって感じですね。

一同;(大爆笑)

m;ビジュアルイメージはどんどん変わっていきますね。ジャケットに関しては、『エーゲ海に捧ぐ』の主人公を演じているんですけど、時によって設定は違いますね。

★では、あれは、女の人?

m;そうです。エーゲ海の畔で海を見つめるワンシーンなんです。

★ところで、7/30から【Cher de memoire〜懐かしい記憶を辿って〜】と題された全国ツアーをされ、9/23にファイナルを迎えましたが、このツアーもCDに関連し、トータルライズされたものになっていたわけですが、各地でどの様なステージを展開していったんでしょうか?

t;ステージセットは、ジャケットの表の赤っぽい風景の中のガラスのにおいてあるテーブルと、裏の寂しげな並木道みたいなものをたしたのなんですよ。場所の都合で出来なかったところもあるんだけど、出来るところは全てやりましたね。曲は、アルバムの中の曲を中心に、ほかの曲も散りばめながら、一つの【memoire】となるようなライブをやりました。僕等は、全国各地を記憶を辿ってきたんですけど、ファイナルには、辿り着いたというわけです。それは、新曲で表わしたと思います。

★全国ツアーは初めてということでしたが、反応はどうでしたか?

t;さっき、曲を持ってきて、一人一人捉え方が違うっていったじゃないですか。それと同じように地方地方によって待っててくれている人の反応も違って、ある場所では黙って見てたり、ある場所では激ノリでノってくれたり、ある場所では、振りつけみたいなのがあって、皆、各々曲に合わせてやってくれたりとかして、いろんな反応があっておもしろかったですね。

★どういう風に見てほしいとか、そういう希望というものはありますか?

m;制約はない。

t;MALICE MIZERは、ノっちゃいけないとか、黙ってボートと見なきゃいけないとか何か変な噂みたいなものがあるみたいで、東京とかでは、結構そういう勝手な見方とかされておとなしいんですけど、でも、初めていった土地とかはそんなの知らないから、好きのように見てくれるんで嬉しいですね。

★以前からツアーに行っていた場所で、CDを出す前と、出した後とでは、反応の違いみたいなものはありましたか?

m;やっぱり口ずさんでるっていうのはあるね。

t;曲を知ってるか知らないかって差はあるけど、そんなには。

ka;CDを出したことによってMALICE MIZERの音楽をたくさんの人に知ってもらえるようになって、お客さんも増えて。

t;今までは、MALICE MIZER知ってるから...とか、ど

ブロンドの綺麗なお姉さんがいる
とこだったらどこでもいいです。

by yu~ki



んな感じなんだろう...って見られていたっていうのはあったけど、CDを出してから行ったら、今までと迎え方が違いましたね。

kō;歓迎されるし。

t;うん、嬉しかったですね。

★気に入っている地方とかありますか?

t;全部。でも、仙台と長野が一番好きに見てくれたっていうのがあったので、特に印象に残っていますね。

ka;長野は振り付けがあったね。俺等も今までお客さんを突き放してやってきたっていうのはあったんだけど、一瞬でも一体感があってよかったですね。

t;逆に長野のファンの子に、一体感というものを教えてもらったって気はするよね。

ka;勉強になったよね。

★ツアー先で何か変わった、おもしろいエピソードなどはありましたか?

t;仙台で、車のバッテリーが上がってしまった時に、町の若い衆が助けてくれたんだよね。酔っ払ってたんだけども、「どうした?」っていって、1時間半位一生懸命いろいろやってくれて、最後には僕等も嬉しくて、僕等の作品をあげたりして..それがおもしろかったことかな。

★新宿ロフトの方で、定期的に【悲劇の晩餐】というイベントを主催されていますが、それは、どういう主旨で行われているんですか?

m;コンセプトとしては、東京の若手ビジュアルシーンを盛り上げるために。

t;俺等も若手だけども。(笑)

m;俺等も若手だけど、今、名古屋とか地方勢がすごいじゃないですか?東京は冷めたところがあるから、俺等も頑張ってみなで一緒に盛り上がっていこうかなっていうのがあるんです。

人間味を出したくないんです。

0

酒飲んでノリ一発でやっちゃえーってところもあったし。

by kami



★活性剤となって、重要な役割をしてくれるのですが、
t;してるのかなー。(笑) 反応とかは聞かないですけどね。

m;11/17に【悲劇の晩餐～第四夜～】をやります。

★そこまで出来るということは、それだけ自分たちに自信があるということなのでは？

t;ないないない。(笑) 余裕とかはないですね。これによって周りが注目してくれればいいなと。

★ライブステージに於いて常に心掛けていることとかはありますか？

ka;いかに曲とMALICE MIZERというバンドの雰囲気とを合わせるかということです。あと、今自分というものを見つけ出している段階なので、

★これからのkamiさんに注目というわけですね。

ka;そうですね。(笑)

y;僕は、自分の持っているものを出しきれればいいなと。

kö;自分がまだ見えてないから自分を見つけることですね。

t;CDは、何十分、僕等の場合は20分程の一つの作品というわけですが、僕等は自信を持って世に送り出しているわけです。ライブも一つ一つの作品として、世に恥じない、自信を持ったステージがやれるようにと、いつも意気込んでいます。

m;いかに視覚・聴覚・子宮を刺激するかということを考えながら、演出なり、見るほうにも力をいれてライブ毎にいろいろやっていますね。

★子宮まで刺激してしまおうと。

m;見る聴くだけでなく、体全てで受け止めるということです。

★ライブのときは緊張とかしますか？

t;しますよ。

★そういう時はどんなことを考えたりしていますか？

t;死んだおじいちゃん、おばあちゃんの事を考えながら。(笑)

★ビジュアルに大変凝っていますが、化粧の時間はどれ位ですか？

y;メイク自体は30分位だけど、髪の毛とかいろいろ合わせて一時間は欲しいなと。

ka;僕は一時間位。

kö;僕は1時間15分ぐらいかな。

一同;(笑)

y;15分は髭を剃る時間だな。

t;化粧してるのは今だから。(笑)

ka;(デーモン小暮の真似をする..似てる！[絶賛])

一同;(大爆笑)

t;いや、それは嘘ですけど、頭入れたら一時間ぐらいでか。メイクは、一番早いんですけど、頭に時間がかかったから。

★特徴のある髪型をしていますよね。

t;そうですね。ゼッペキなんですけど。

一同;(爆笑)

★一人でやるんですか？

t;そうですね。クルクルクル、クルクルクルと。

m;ライブによってスタイルが全然違うんで、時間もバラバラですね。早いときは30分とかで出来るときもあるし、2,3時間かかるときもあるし。

★化粧道具とかはどれ位お持ちなんですか？あと、使っているメーカー名も教えてください。

m;俺は、余分なものは持ちたくないんで、必要最低限のものだけ持つようにしていますね。メーカーの好みは、クリスチャン・ディオール。あの青と金のデザインが見てるだけで惚れ惚れするんですよ。だから俺はあれが使いたいんですよ。

ka;いっぱいいいです。メーカーは..いいものはいい。

y;僕は、口紅とかアイブローペンシルとか沢山持ってるんですけど、その日の気分で全然違うから、毎回ライブを見る子は分かんないと思います。いろいろ試してみたいなって思っていますね。メーカーは、特に決まっていなくても、値段的に手頃なマリークワントとか使っていますけど。

t;僕は化粧品に関してはうといんで、分かんないですけど。マリークワントとか使っているけど、メーカーっていうより色で選ぶから..

kö;メーカーとかこだわってないですね。

★皆さん大変化粧がお上手だと思うのですが、メイクのポイントなどはありますか？

m;これは、化粧ではなく、舞台メイクなので全く違いますね。

t;たまに俺等みたいなメイクしてる人いるけど、怖いよね。(笑)

m;あれは、ステージに立つ上で、光の作用とかを考えた濃い目にやっているんですけど。

t;普通の女の子がするメイクとは全く別ものだから、僕等が普通のメイクをしようと思ってもできないですね。

★10/23に結成二周年を迎えられましたか、これからMALICE MIZERはどうなっていくでしょうか。方向性を表わすとすれば？

m;一言で言えば、未来のことは誰にも分からない。

t;でも、進化はするでしょう。

★また、二年間を振り返ってみて、この二年という期間はどうでしたか。何か印象に残った出来事などはありましたか？

t;大人になったね。

m;どんどん二年の間に自分達が変化しているのが分かって、進歩しているんじゃないかと思います。

★これからツアーや、企画していることなどはありますか？

t;12月に何かが、

m;起こる！

t;果報は寝て待て！

kö;どっかで聞いたことあるぞ。

t;これ、ことわざだよ。(笑)

★常にコンセプトを持って一步一步着実に前に進んでいますが、MALICE MIZERの最終目標というものは？

m;俺個人としてはない。常にいい曲を書きたいと思っているんで。曲に制限はないし、最高傑作がそのうちに生

視覚・聴覚・子宮を刺激

まれるかもしれないけど、曲はどんどん進化していくので、無限ですね。自分が死ぬまでにいかにいい曲が書けるかが最終の目標ですね。

ka:僕等の音楽を聴いて人生観が変わったかと思ってくれればいいなど。

kô:目標って、作って辿り着いたらすることなくなっちゃうわけでしょ？だからあえて作らない。

★今の状況を自分達ではどのように感じていますか？

t:今よりも先のことが気になりますね。

★最後に、読者、ファンの皆さんにメッセージを。

y:ライブに来てください。ライブで会いましょう！

kô:これからの動きに目を離すな！

ka:お前らの人生を変えてやるぜ！

m:美しさと悲しみの旋律によって、あなたの視覚・聴覚・子宮を刺激します！

t:俺の子供を産んでくれ！

一同: (大爆笑)

t:あなた達の死に際の走馬灯のワンシーンの中にMALICE MIZERの姿が浮かび出されることを祈って..
メッセージと代えさせていただきます。

『Live スケジュール』

11/7新宿ロフト【悲劇の晩餐～第四夜～】

12/5名古屋ミュージックファーム

7難波ロケッツ

10岡山ペパーランド

12博多Be-1

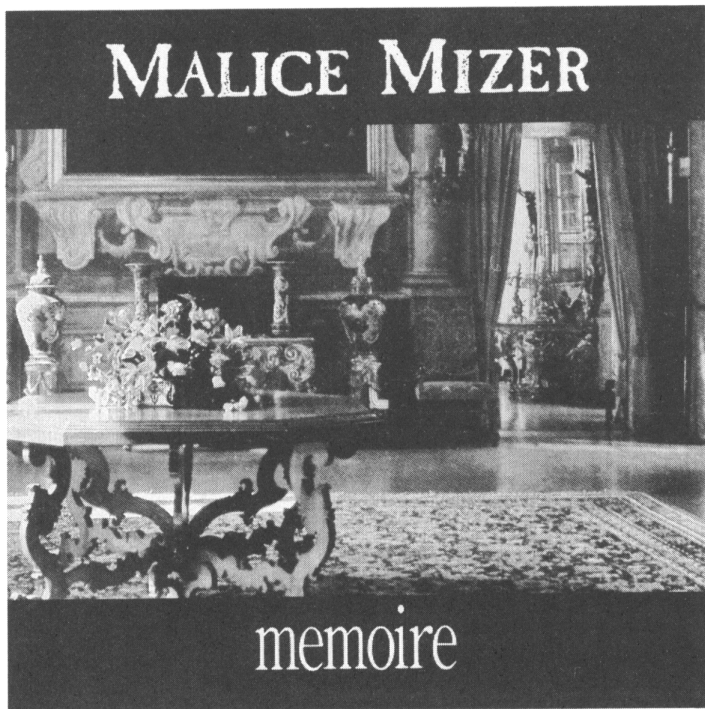
17仙台バードランド

19長野J

21新潟O-DO

27目黒鹿鳴館 (ワンマン)

お問い合わせ先
Mide : Nette office
03(3784)1746



『曲目リスト』

I de memoire

II 記憶と空

III エーゲ海に捧ぐ

IV 午後のささやき

V 魅惑のローマ

VI seraph

1st ALBUM・[memoire] 2nd プレス好評発売中

¥2,369 (税込み)

Imperfection増刊号

MALICE MIZER [Cher de memoire]

彼等の二周年を記念して、特別にMALICEMIZER本を作りました。

さらに深く彼等の素顔に迫った企画あり、ファンには涙ものの懐かしの秘蔵写真ありと、まさにまるごとMALICE MIZER。限定発売ですので、早く買わないと売り切れる可能性大です。購入希望の方は、Imperfection編集部まで、80円切手を同封の上、お問い合わせください。なお、販売は通信販売と、MALICEMIZERのライブ会場のみとなっておりますのでご了承ください。



G&Syn
mana

Birth 3/19
Blood O

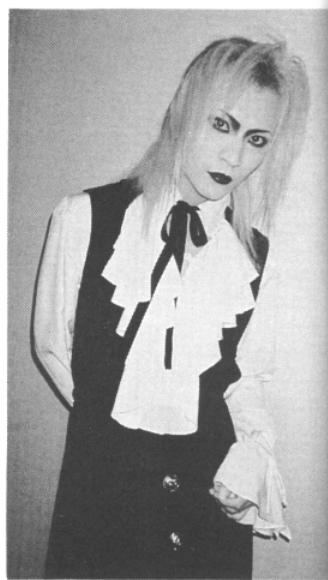
G&Syn
kōzi

Birth S47.5/29
Blood A



VOCAL
testu

Birth 12/12
Blood B



BASS
yu~ki

Birth S46.8/8
Blood A

DRUMS
kami

Birth 2/1
Blood A

